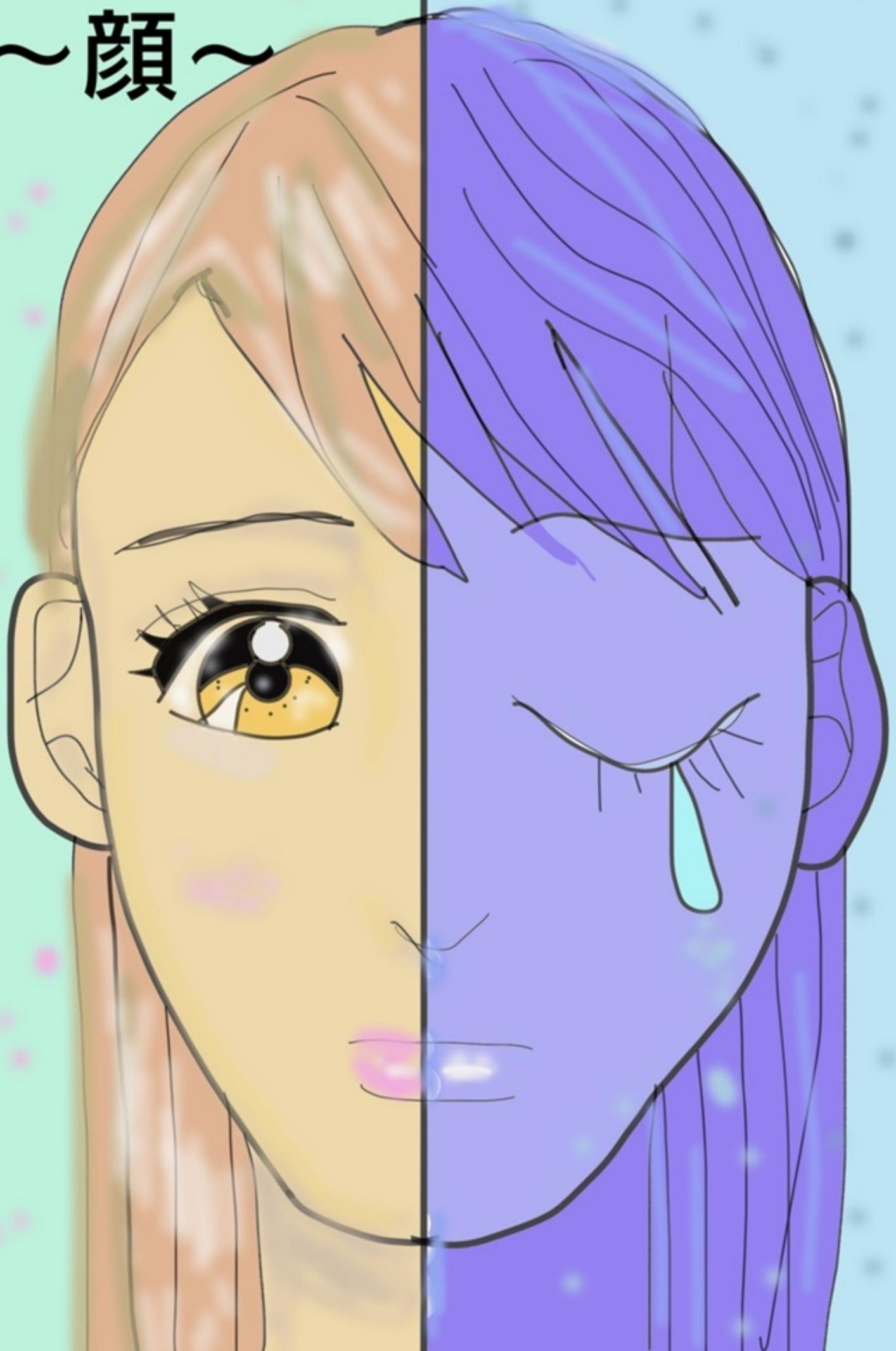


～顔～



私には
不幸な事がうつつある





養護施設で少し生活し
新しい父母に引きとられた

た、いま
帰りました

あら
帰ってたの？
もっと
遅くても
いいのに

養母・羽山法子

みにくい顔

ウッ

妹のいる所に帰ればいいよ

政治家の父は
あまり家に帰らず
この母にいられる
まっウニサリた
どうしてもこの家に
いたくなかったら



今日は2日



もういやだ

出てく!!



一体

どこへ行けばいいんだろう



ガガガ
ゴメーん
今、天音達と
デニスニーにいろの

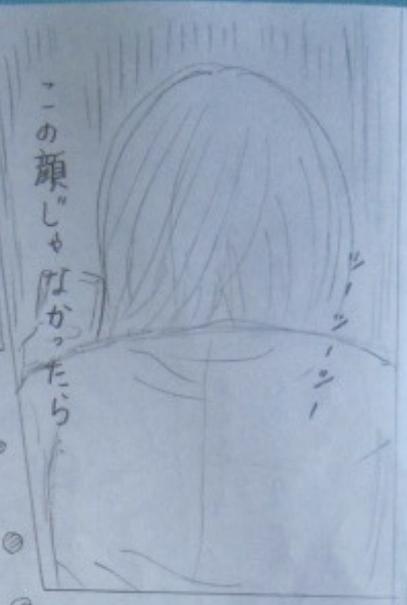
これから
夕食だから
またね

えっ



プルル
はい
りか?

あ、エナ?
今日家に
泊めてくれない?







あらら

もしかして
のぞみちゃんの双子の
リカちゃん？

私のこと
知ってるん
ですか？

はああ？

こらう

のぞみって子はまだ
ここにいますか？

元々ぞいつて
良かっため

少しだけ
この施設に
いたんでまもの

ぞりせもちろん

あ、
のぞみちゃん

そいつも私と
同じ不幸な人生に

こらえ

うちの職員として
働いてくれているの



あ、私
大木のぞみです

ゆきー
ホント同じ顔
びっくり

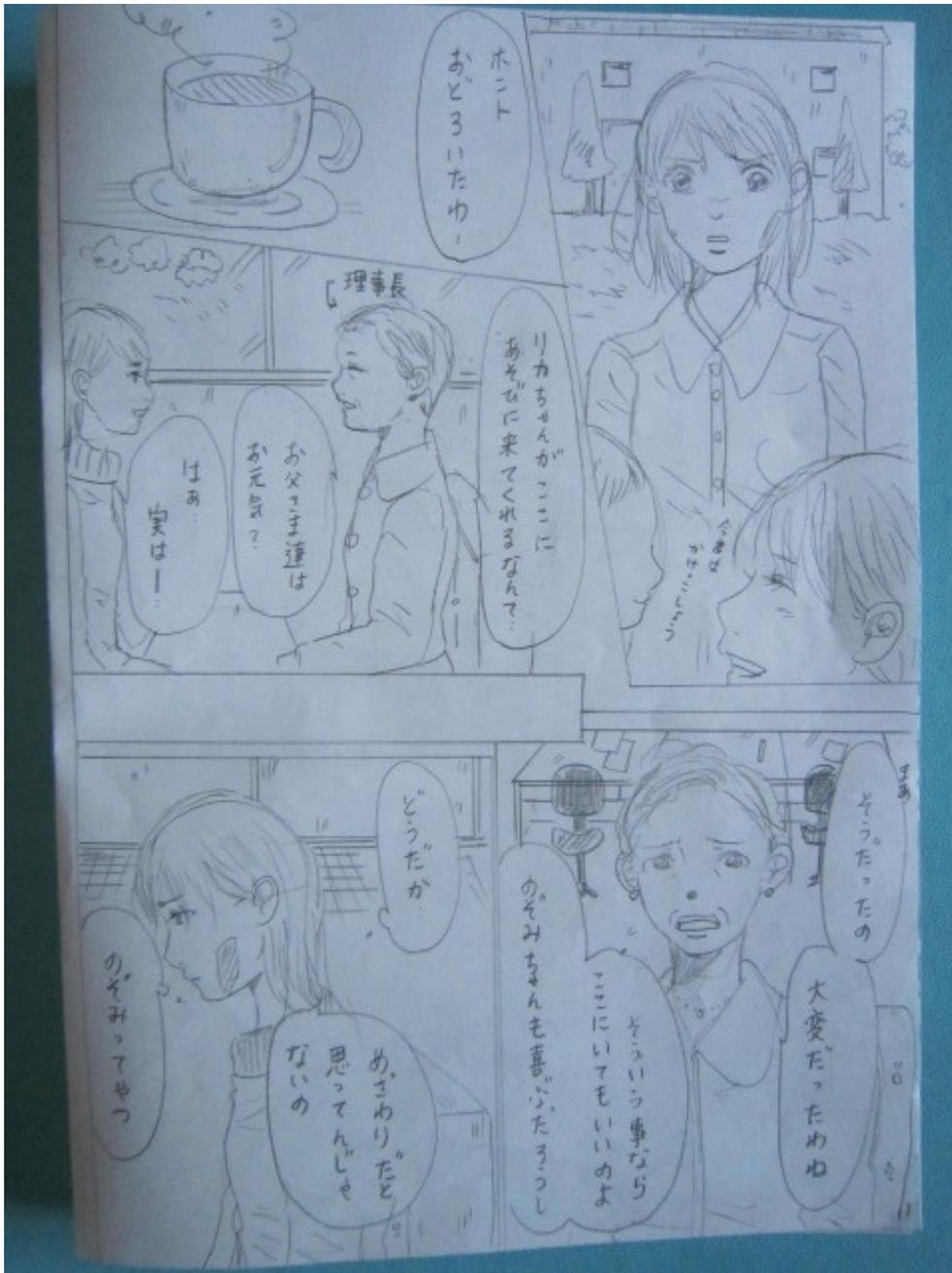
あ
あの
おす

こちら
お姉さんの
リカさんよ

ああ
のぞみちゃん

先生
お客さん？













ん どうしたの？

気づいてんてしょう？

あいつの服ホロホロに
したの

私だって

……

言えはいいのに
何て黙ってんのよ

仮にそうだとして

そんな事知っても
誰も幸せにならない
から

それに……



私 あなたがそんな事するの
見た訳じゃないから

そんな事できないわ

りかさんは
私のたった一人の
姉だもの

あんなやつ

何よ!!

いい子ぶっちゃって

く
ろ
っ

あ



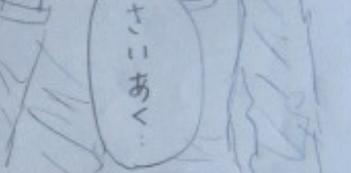
大丈夫ですか？

すみません

ったあー



もしかして



さいあく



僕のぞみのお婚約者、
田畑智也と申します

さ前々から
お話は聞いて
いました



もしかして
のぞみのお姉さん
ですよね

は



は？



嫌な奴って言った
でしょ

生き別れた姉が
いるって



あ、留せさん
今リカさん来なかつた？

ああ
今っ、き
会ったよ

何かすごく
顔色わるかたけど

大丈夫かな？

本当のお父さん
お母さん
天国にいらした
よぬ



まう：
つかれた



幸せになれる
かなー

あっち行ったら
た



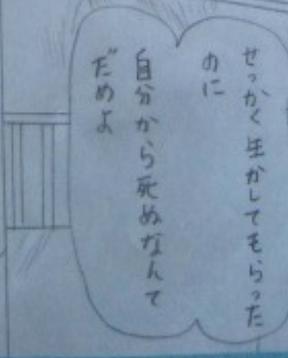
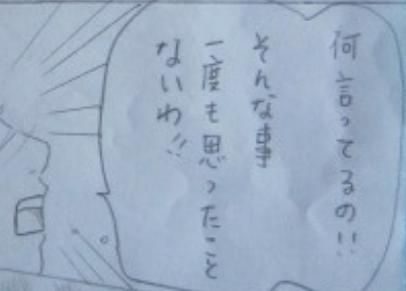
リカさん！！



すこいカ



のぞみ





うそ...
だって
一家ごと
あいつが！
(養母)

お母さんを助けようとして
お父さんも死んでしまってる

お父さん達は私達を
救ってくれたのよ



一家で中々...
違っわよ
あのほとばりの部屋から
出火したの



2人助け合って
生きて行くんだよ

いいかい



私覚えてるわ
お父さんが火の中から
私達を連れだして
くれたこと

あの時...リカさんは
意思を失っていただけ



せうかく守ってくれた命
なのに
何で捨てようとするの？



そんな自分も
大キライだった



親を憎んで生きてきた

うー！
じゃあ今までは
何だったの？



こんなに不幸なのは
お父さん達のせいだって



私は
リカさんのこと
大好きよ

始めればいいじゃない
自分を好きになる事から



大丈夫よ
人間はいつだって
やり直せるもの



のぞみ...



ここが
のぞみのおうち



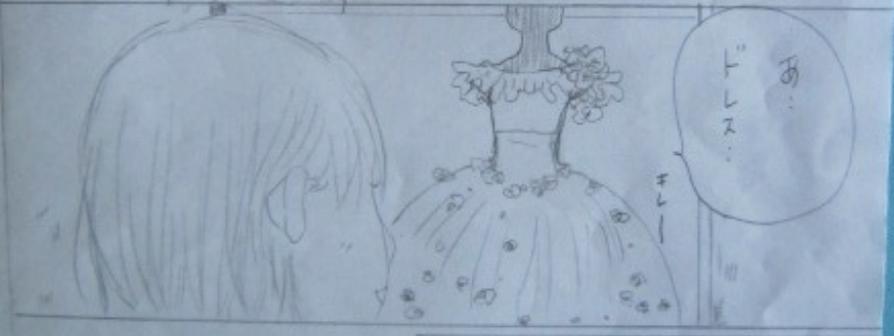


これいいわ
ゆきに茶をくれる
なんて



今お茶
もってくるわ

座ママ



あ...
ドレス...

キレイ



結婚式
来てくれる?

え



ふふ
来月挙式するの

すごく楽しみ







それは
あんだが周りに
優しくしてるから



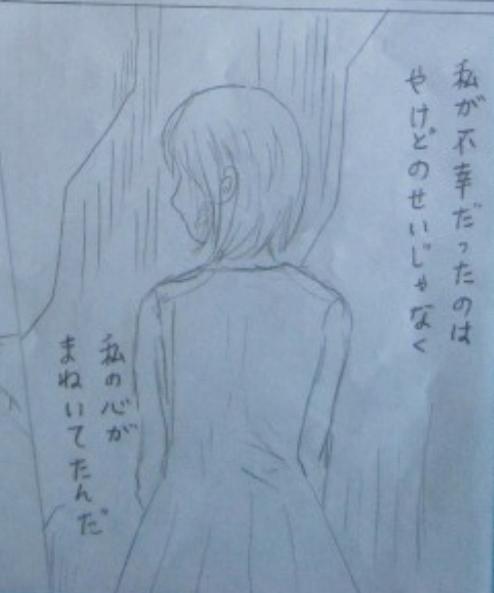
泣かないで
私まで涙が
こぼれちゃう



私の大事な
家族と再会
できたんだもの



のぞみと出会って
やっと分かったよ



私が不幸だったのは
やけどのせいじゃなく

私の心が
まねいてたんだ





前向きに歩いて行こう

幸せな種をまいて

いこーよ

きこーと

未来は輝いてる

顔

<http://p.booklog.jp/book/101001>

著者 : aoi

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kumonosu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/101001>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/101001>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ